

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 2022年1月18日

(2)調査対象期間 2021年10月～12月期の実績および2022年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	20社	66.7%
水産業部会	30社	17社	56.7%
機械工業部会	30社	16社	53.3%
建設業部会	30社	16社	53.3%
観光・サービス業+諸業部会	30社	18社	60.0%
合計	150社	87件	58.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－前期より回復するも、次期は再び大幅悪化の見通し－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業業景況調査の**今期(2021(令和3)年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲6.9**と前回調査時の▲15.7より**8.8ポイント回復**となりました。

部会別に前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値▲66.7→**今期▲35.0**]、水産業[前年DI値15.7→**今期35.3**]、機械工業[前年DI値0.0→**今期▲12.5**]、建設業[前年DI値▲33.3→**今期▲6.2**]、観光・サービス・諸業[前年DI値▲54.5→**今期▲11.1**]となりました。

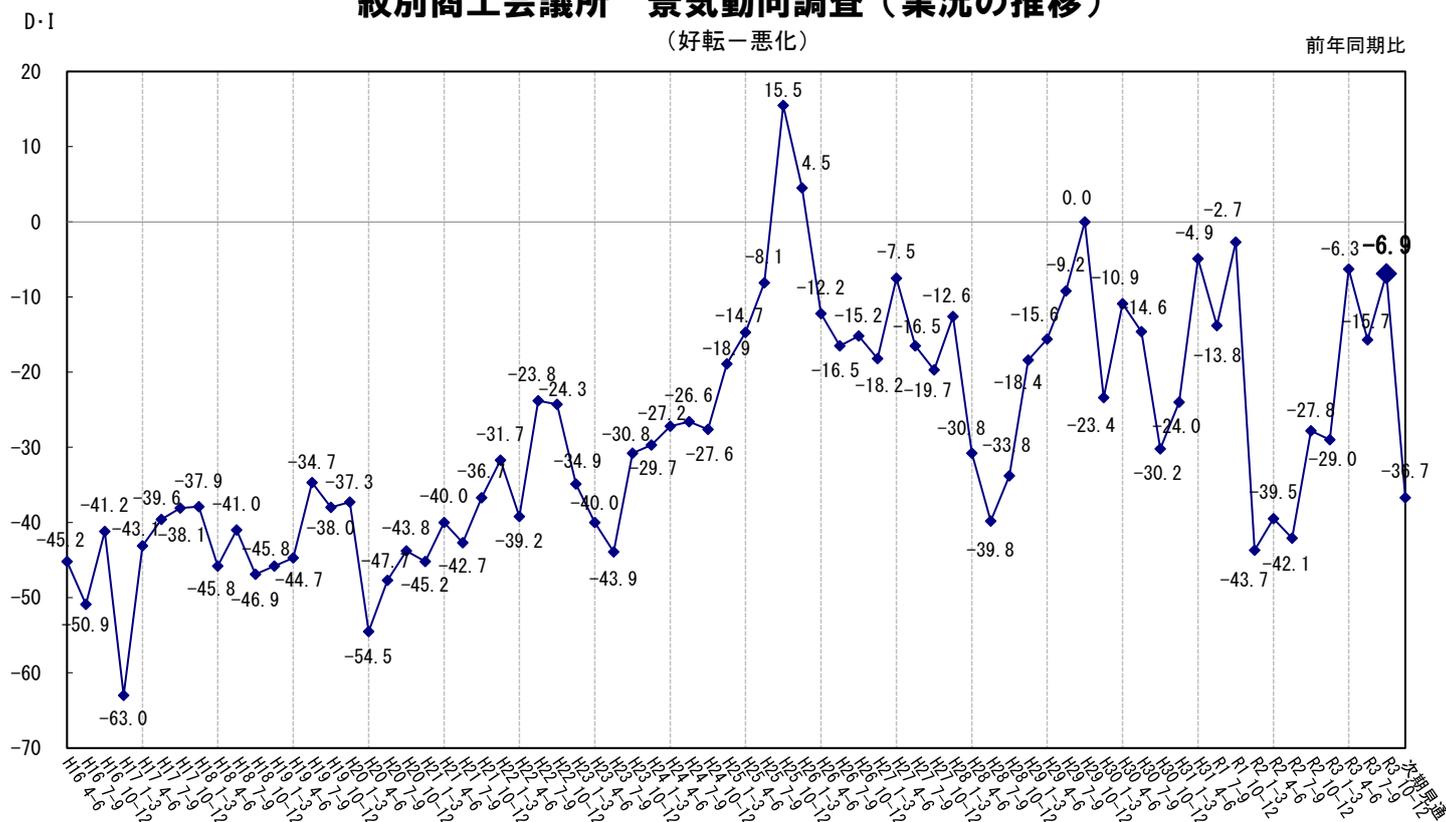
今回の調査では、**機械工業のみ前年同期より業況が「悪化」し、その他業種は「回復」となりました**。新型コロナウイルスの感染拡大による「緊急事態宣言」が9月に解除されると、飲食店や取引先を中心に業況が回復傾向となりました。しかしながら、消費者の警戒心は依然として高く、機械工業や建設業などでは、個人客との商談等は敬遠される傾向にあるといった声も寄せられています。

次期(2022年1月～3月)については、業況判断DIが▲36.7と再び大幅に悪化するとの予測となっています。調査時、新型コロナウイルスの中でも感染力が強いといわれている「オミクロン株」による感染が急増していたことから、業況の悪化を想定されていました。1月27日からは北海道全域でも「まん延防止等重点措置法」が適用され、休業を選択する飲食店が多く見られました。

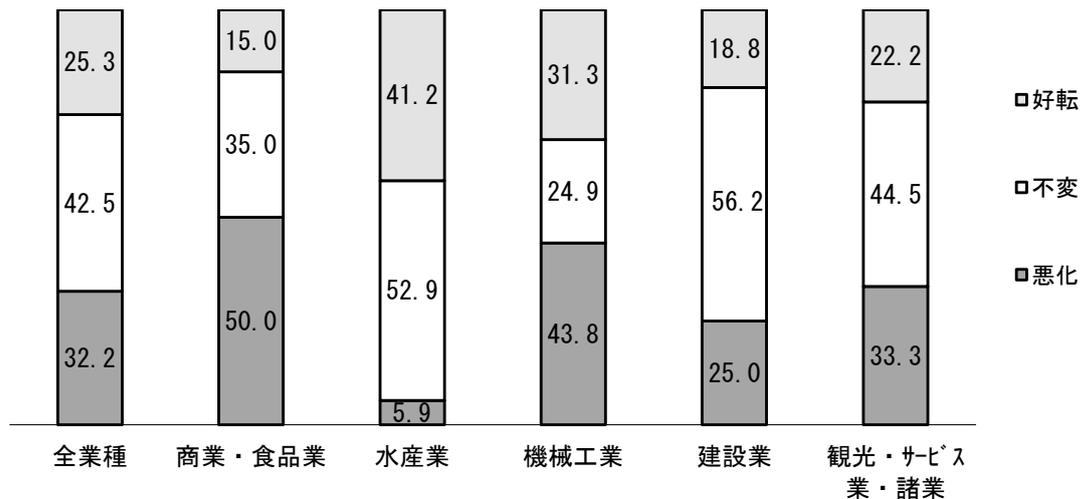
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「従業員・熟練従業員の確保難」「原材料・材料価格の上昇」を訴える声が多くなっています。

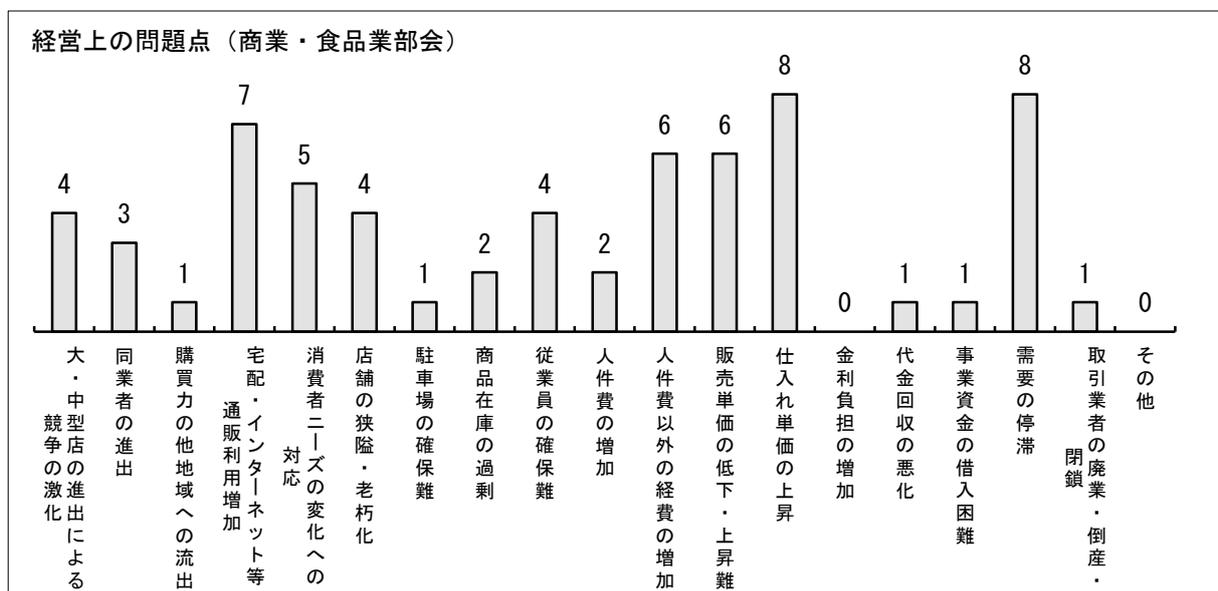
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲35.0（前年DI値▲66.7、来期見直し▲45.0）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ31.7ポイントの回復となりました。緊急事態宣言の解除による飲食店の営業再開や、感染対策のため外出等を自粛していた個人消費者の行動も緩和されたことにより、消費の回復傾向が見受けられました。更に9月1日より販売が開始された「もんべつプレミアム付商品券」による域内消費の活発化が見られました。来期は、今年よりも悪化するとの回答が多くなっています。経営上の問題点としては「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「宅配、インターネット通販の利用増加」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・川上からの売上金によるカテゴリー分けで今後の対応が激変する（医薬品・化粧品小売）
- ・人手不足、人件費の増加（食料品等小売）
- ・人が動かなければ、物も動かない。（衣料品小売）

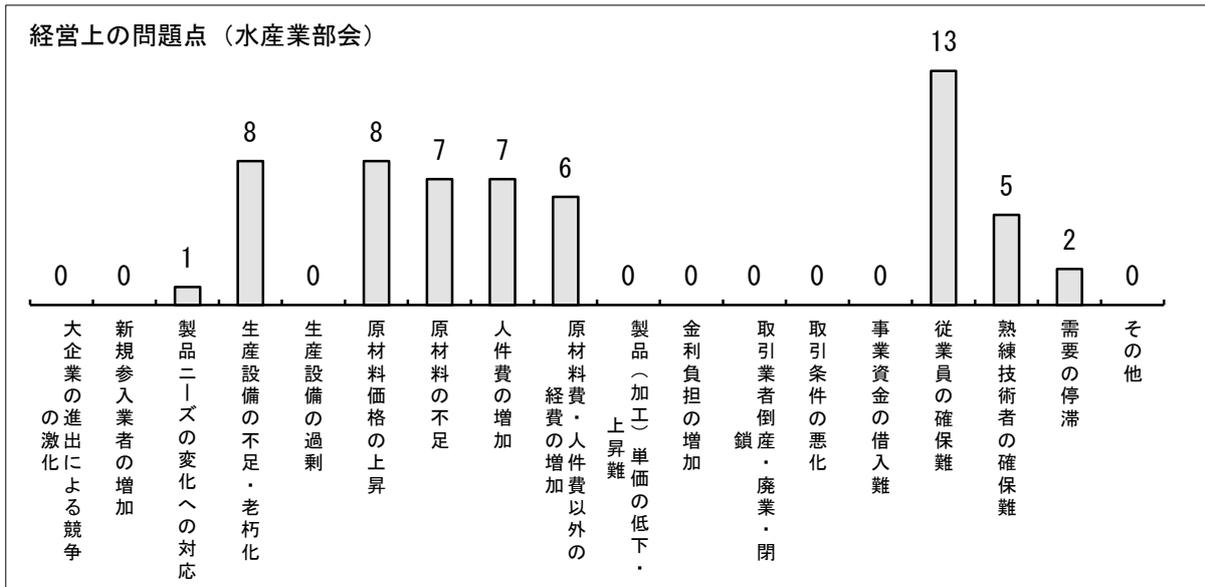


【水産業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）**35.3**（前年DI値15.7、来期見通し▲29.4）]

業況判断DI値（前年同期比）は19.6ポイント回復しました。紋別市へのふるさと納税額が2019年度に全国3位となったことから、紋別産品が注目される機会も増加し、年々その納税額も増えています。一方で、外国人実習生の入国制限による、人手不足を訴える声が依然として多くなっています。次期の見通しは▲29.4と64.7ポイントの大幅な悪化を示しています。流水の到来による休漁期に加え、ふるさと納税の需要が年末に集中する事から、その反動による影響もあると思われます。経営上の問題点としては「従業員の確保難」を訴える声が目立ちます。

《業界の問題点等》

- ・外国人入国の遅れによる、人手不足（水産加工）

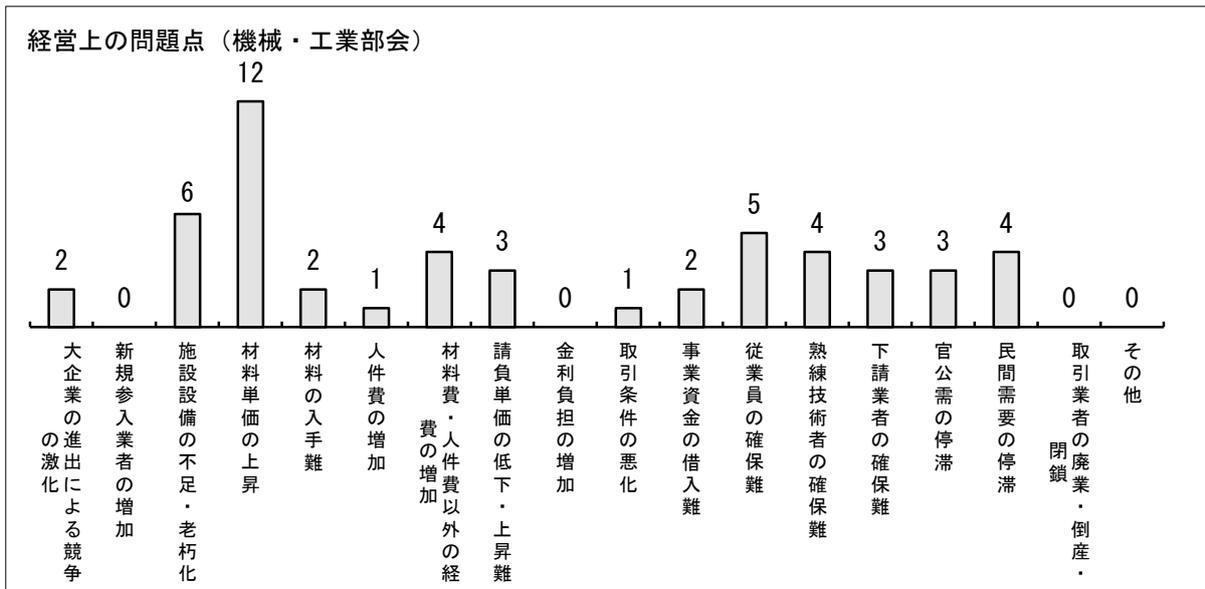


【機械工業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）**▲12.5**（前年DI値0.0、来期見通し▲50.0）]

業況判断DI値（前年同期比）は、12.5ポイント悪化となりました。原油価格の高騰による材料の価格上昇に加え、新型コロナウイルスによる対面営業活動を敬遠されているとの声が寄せられています。また、大手の進出による業況悪化を訴える声も寄せられています。次期業況見通しは▲50.0と37.5ポイント悪化の見通しとなっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・商圏が約100kmの業界で、大手が地方に入り込んできている、全国で3%しかない北海道の量に対し取り合いが厳しくなっている。（資材等製造）
- ・職人の高齢化（鉄工）
- ・現在2代目として営業中、高齢の為にいつまで続くか心配です。コロナ渦の影響で世の中デフレとインフレの板挟みで悪戦苦闘の連続です。（室内装飾品製造）
- ・自動車業界はEV及び電動化と目まぐるしく進化していく中でそれに対応し環境づくりをしていかなければならないが先行き不透明感があり若干の不安があります。（自動車小売・修理）
- ・コロナ株の発生続き、観光旅行者減少、人の交流減少で牛乳の消費が低下している。酪農家の牛乳余りで大変です。（機械器具修理販売）

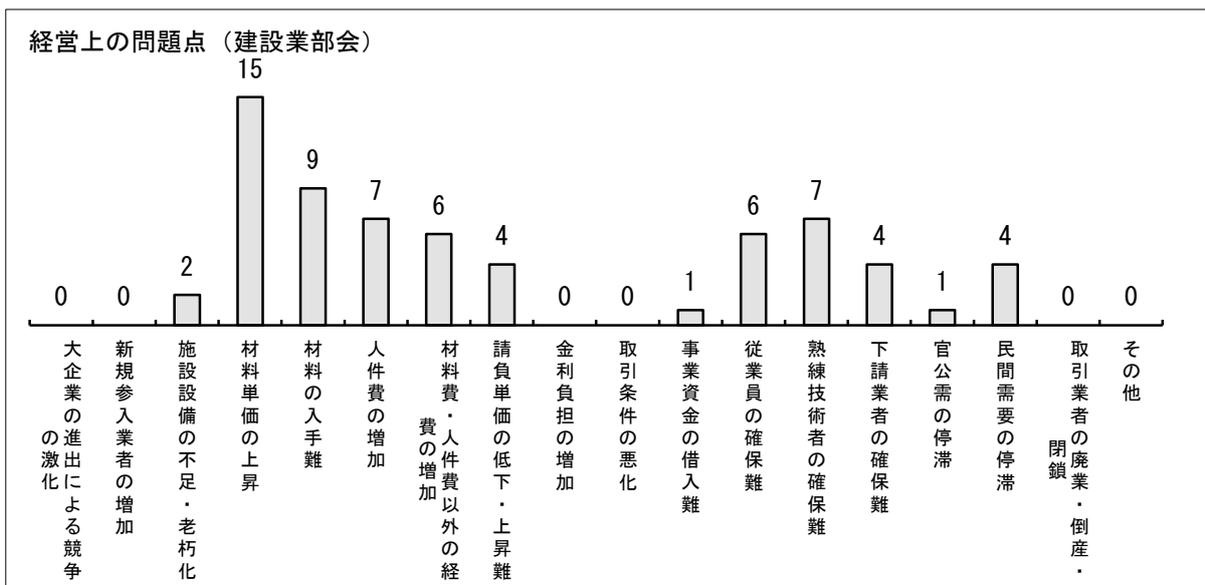


【建設業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）▲6.2（前年DI値▲33.3、来期見通し▲25.0）]

業況判断DI値（前年同期比）は27.1ポイントの回復となりました。新型コロナウイルスの影響で機器や材料の入荷難や感染者数の増加で顧客との商談が延期にされ、営業活動の滞りについても懸念している、といった声が寄せられています。一方、紋別市の「商業環境整備補助金」等を活用し、店舗の改装や新築工事などの発注が増加している、との声が建築工事関連で寄せられています。次期はDI値が▲25.0と悪化の見通しとなっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」を訴える声が最も多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 機器他、材料の入手難。（設備工事）
- ・ 完工高の減少、公共工事の減少。従業員の確保（電気工事業）



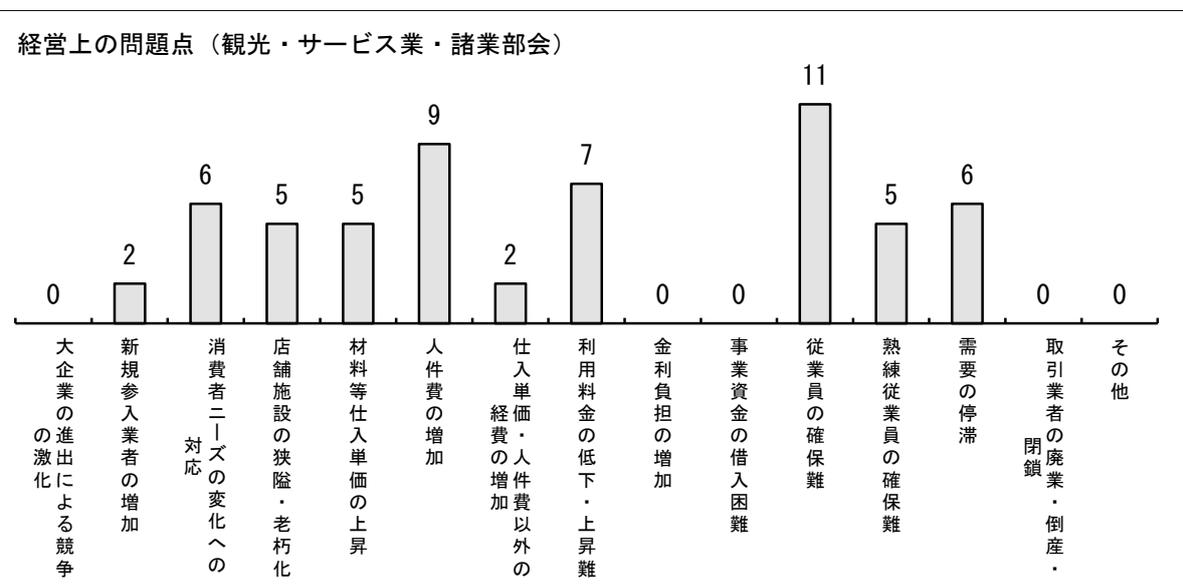
【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲11.1

（前年DI値▲54.5、来期見通し▲33.3）

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも43.4ポイントの回復となりました。緊急事態宣言が解除されたことによる、人流の回復が要因と考えられます。忘年会・新年会の自粛は企業を中心に依然として続いており、コロナ前と比較すると圧倒的に減少しており、以前ほどの賑わいとはなっていません。来期はDI値▲33.3と再び悪化する見通しとなっています。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」「人件費の増加」を訴えるが多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・店舗数の減少による競争がなく、業界のレベル低下を危惧する（飲食業）
- ・人材不足、運賃の上昇難、燃料代の高騰（貨物運輸）
- ・1月地元でコロナが出ると、少人数の宴会でもキャンセルになる（飲食業）
- ・市内にてコロナ患者が出た為の乗車率の低迷（旅客運送業）
- ・人件費高、原油高（クリーニング）



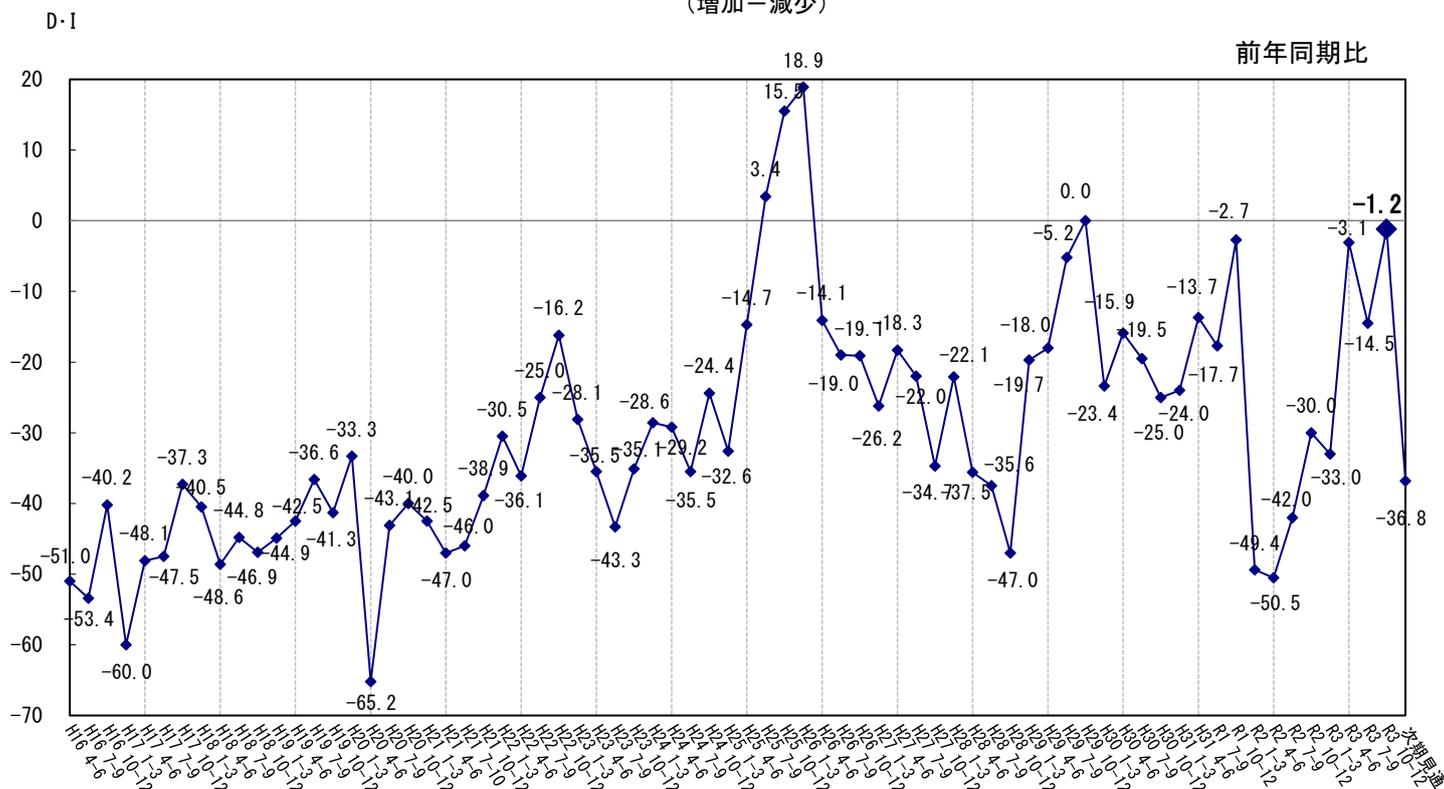
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

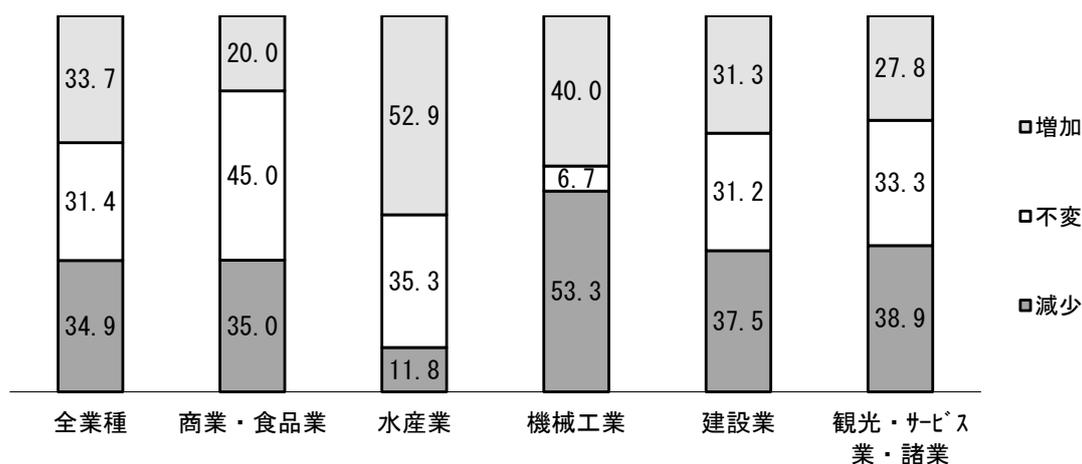
【前年同期比】（2020（令和2）年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲1.2〔前年調査時（令和2年10～12月期 ▲30.0）より28.8ポイント回復〕機械工業で僅かに悪化するものの、その他の業種が全て回復。

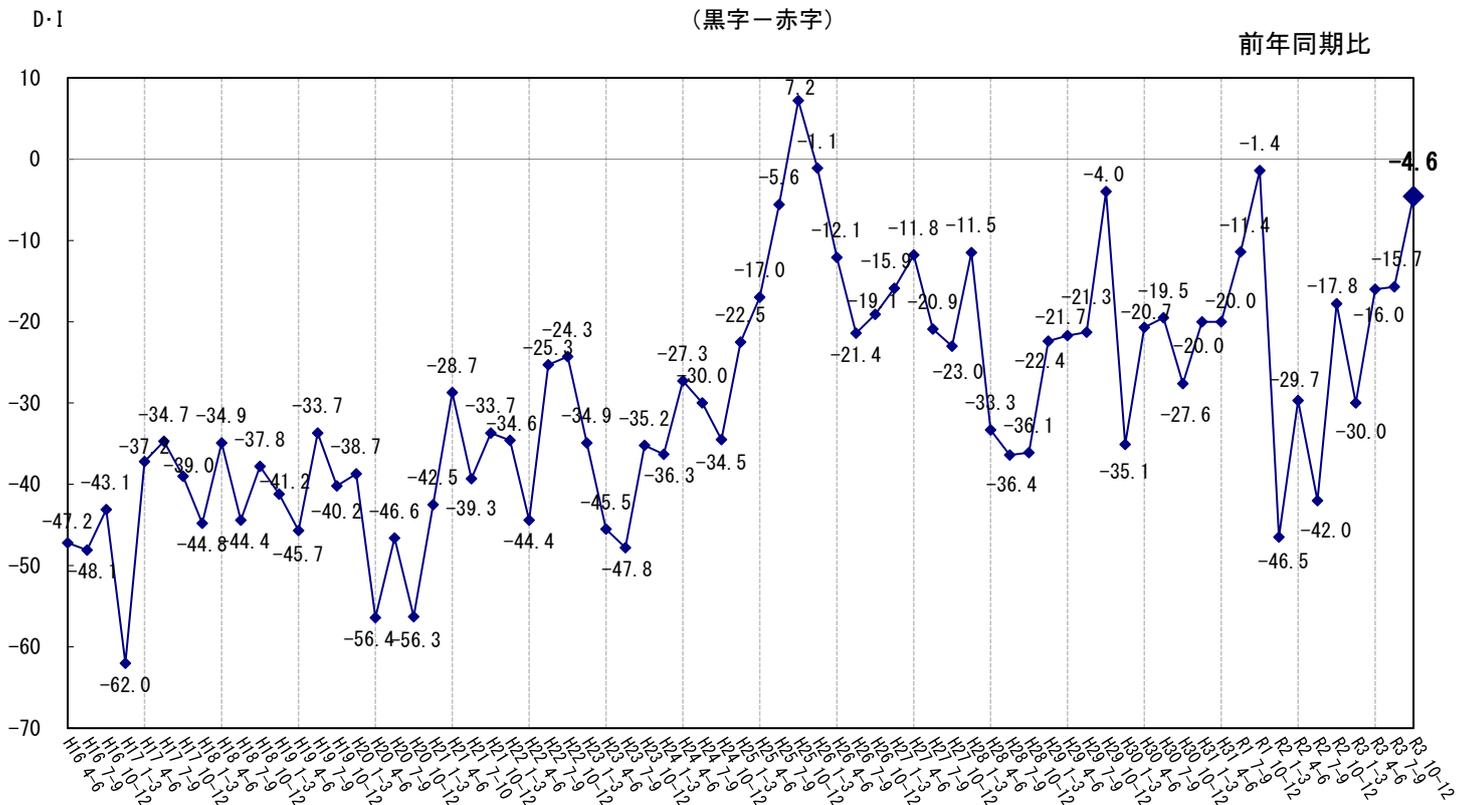
【部会別DI値】 商業・食品業〔前年▲53.3→▲15.0〕、水産業〔前年▲5.3→41.0〕
 機械工業〔前年▲12.5→▲13.3〕、建設業〔前年▲27.8→▲6.2〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲50.0→▲11.1〕

(2) 今期の採算

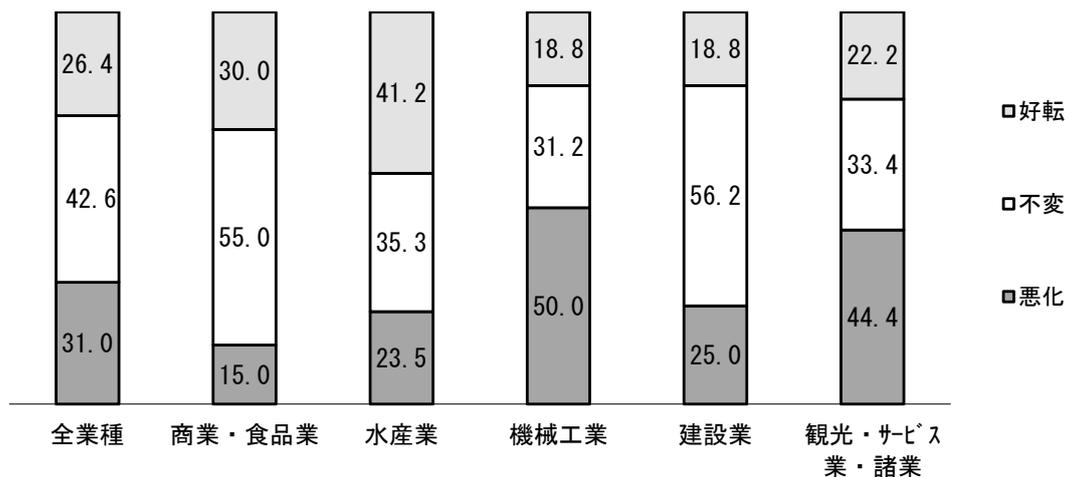
【前年同期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準)

採算推移(全業種平均D・I)

(黒字-赤字)



今期の採算(前年同期比)



全業種平均でDI値▲4.6〔前年調査時(令和2年10～12月期▲17.8)より13.2ポイント回復〕機械工業が悪化。その他の業種全てで回復。

〔部会別DI値〕

商業・食品業〔前年▲53.3→15.0〕、水産業〔前年15.7→17.7〕
 機械工業〔前年▲12.5→▲31.2〕、建設業〔前年▲22.2→▲6.2〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲22.8→▲22.2〕

(3) 今期の資金繰り

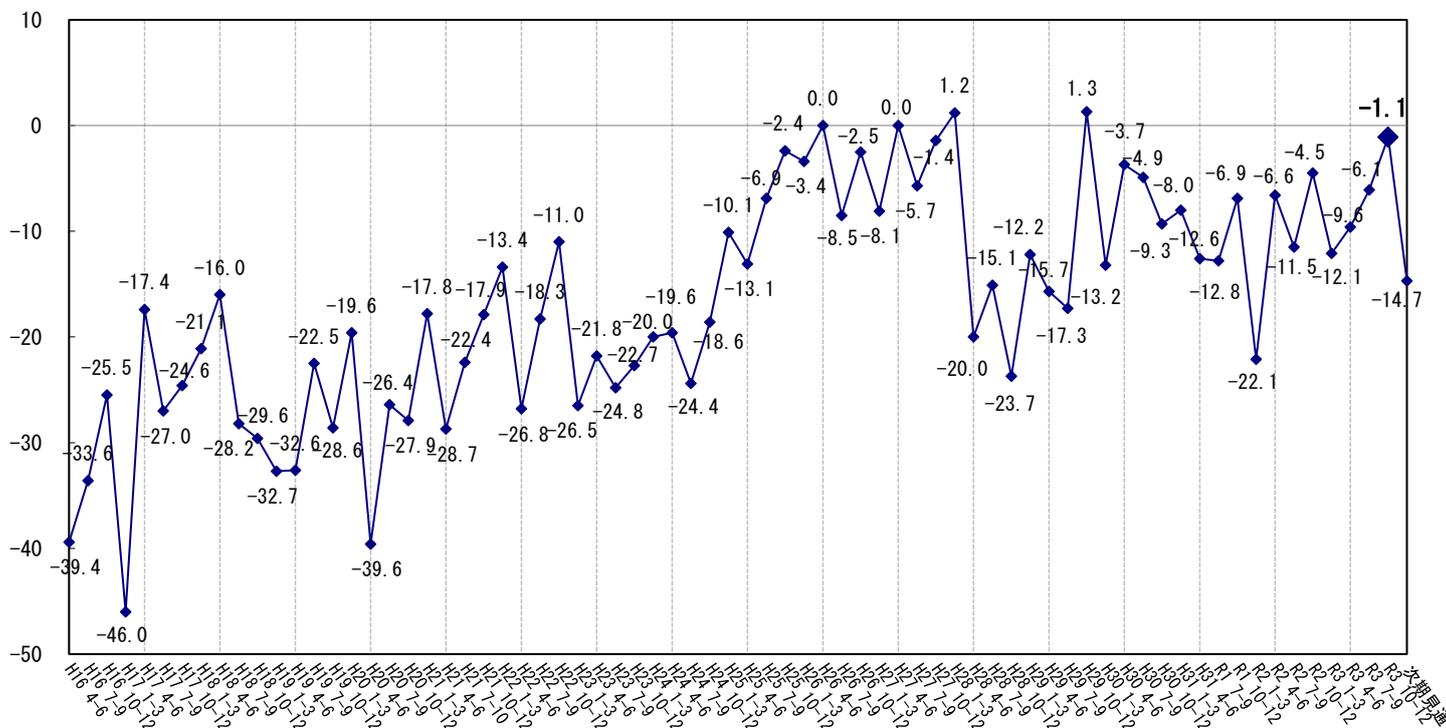
【前年同期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り)

D・I

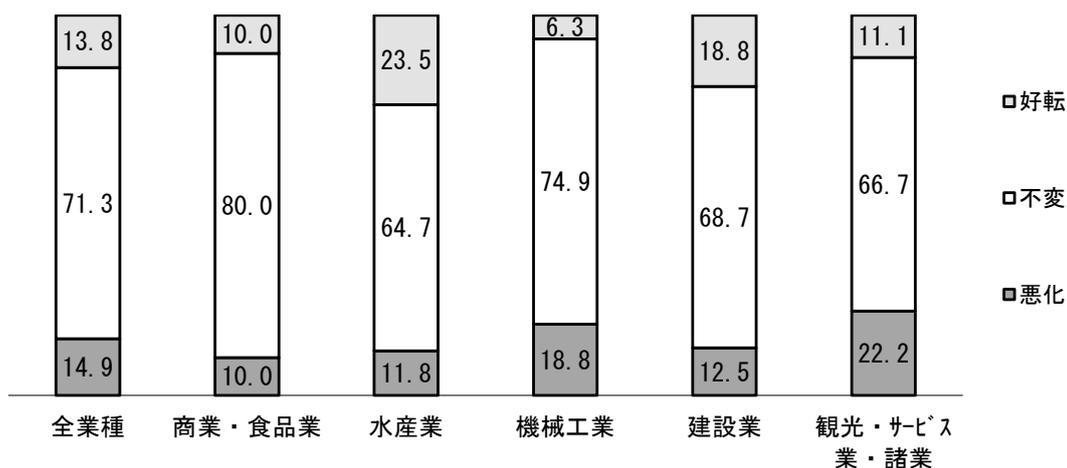
資金繰り推移(全業種平均D・I)

(好転-悪化)

前年同期比



今期の資金繰り(前年同期比)



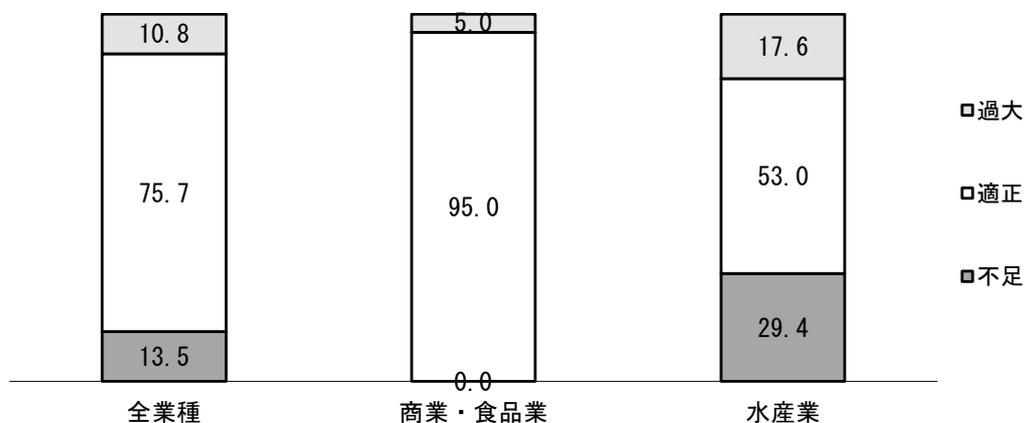
全業種平均でDI値▲1.1〔前年調査時(令和2年10～12月期▲4.5)より3.4ポイント回復〕
水産業、観光・サービス業・諸業で悪化。その他の業種は回復。

〔部会別DI値〕
 商業・食品業〔前年▲20.0→0.0〕、水産業〔前年16.7→11.7〕
 機械工業〔前年▲25.0→▲12.5〕、建設業〔前年▲5.5→6.3〕
 観光・サービス業・諸業〔前年4.6→▲11.1〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準)

今期の在庫水準(前年同期比)



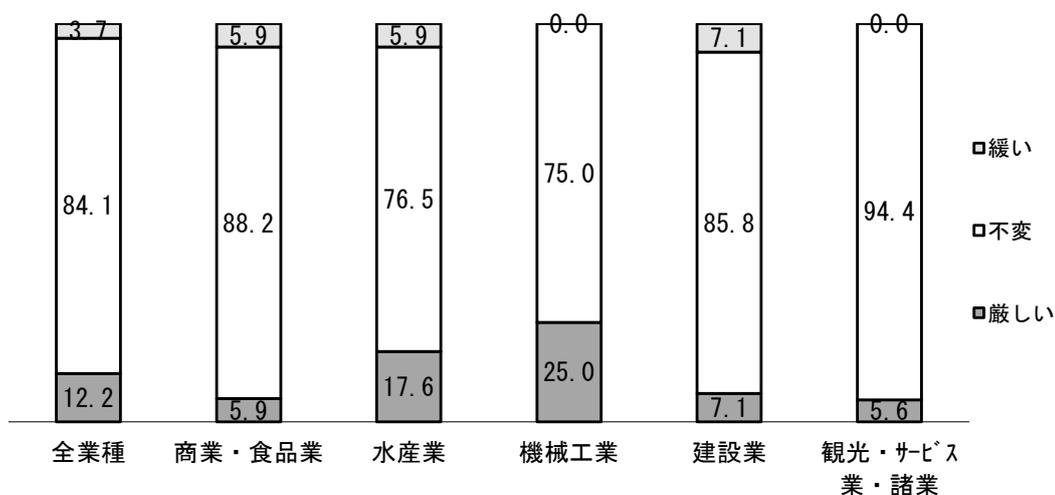
全業種平均でDI値▲2.7〔前年調査時(令和2年10～12月期▲5.9)より3.2ポイント過大傾向〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年6.7→5.0〕、水産業〔前年▲15.8→▲11.8〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出姿勢)

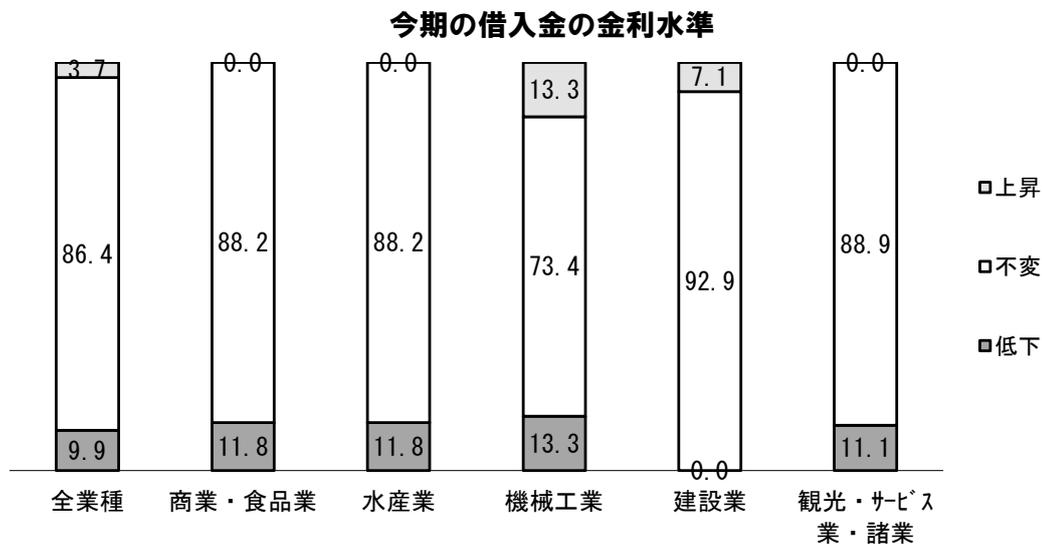
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で▲8.5ポイント。商業食品業0.0、水産業▲11.7、機械工業▲25.0、建設業0.0、観光・サービス業・諸業▲5.6。

(6) 今期の借入金の金利水準

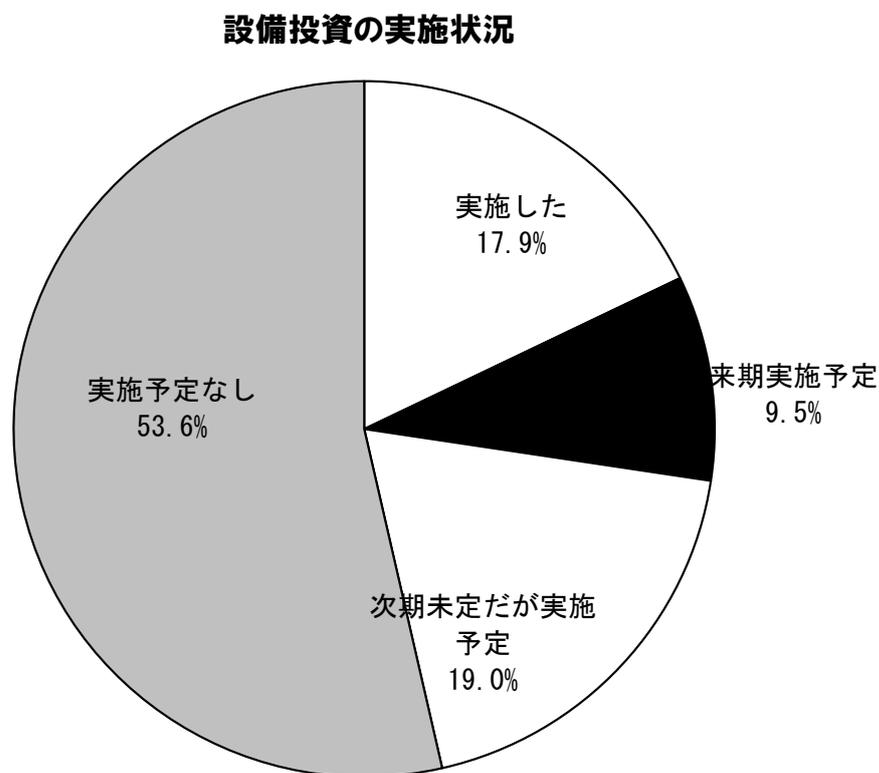
【前年同期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)



全業種平均で▲6.2。商業食品業▲11.8、水産業▲11.8、機械工業 0.0、建設業 7.1、観光・サービス業・諸業▲11.1。

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

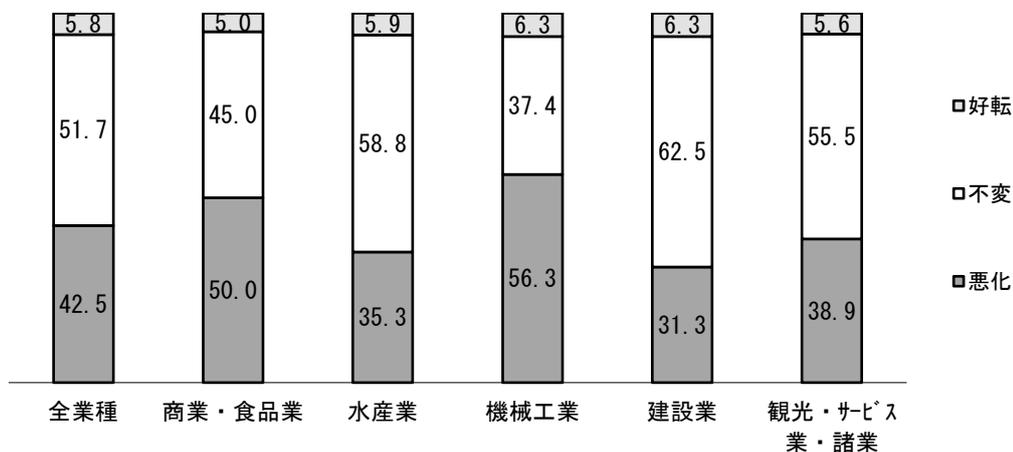


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（2021（令和3）年10月～12月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

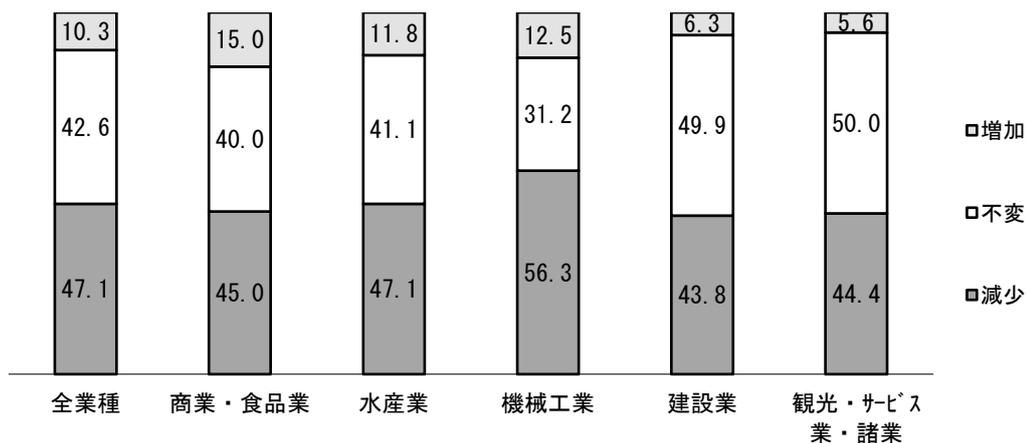


全業種平均 DI 値▲36.7 [今期の業況（前年同期比▲6.9）より 29.8 ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（2021（令和3）年10月～12月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

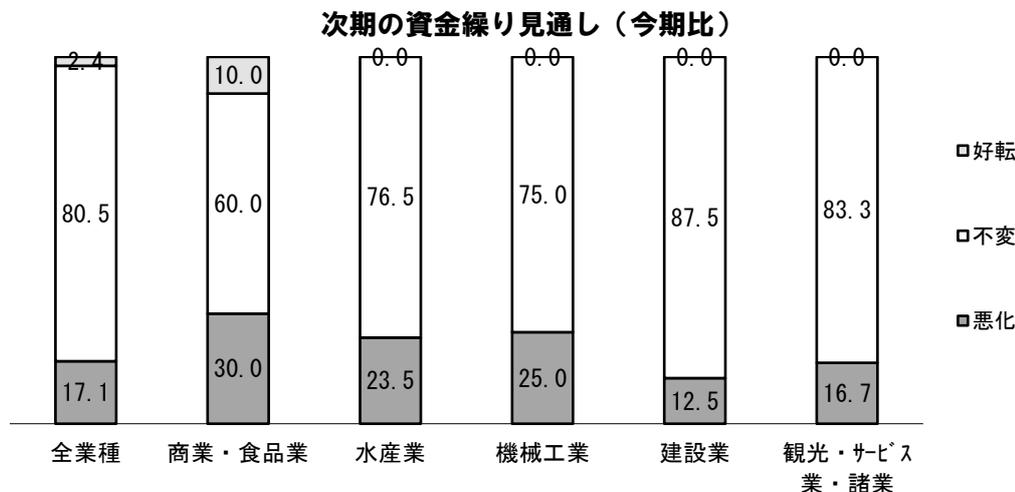
次期の売上高・生産高見通し（今期比）



全業種平均 DI 値▲36.8 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲1.2）より 35.6 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(2021(令和3)年10月～12月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)



全業種平均DI値 ▲14.7 [今期の資金繰り(前年同期比▲1.1)より13.6ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲6.9	▲35.0	35.3	▲12.5	▲6.2	▲11.1
	来期見通し	▲36.7	▲45.0	▲29.4	▲50.0	▲25.0	▲33.3
売上・生産 D・I	今期実績	▲1.2	▲15.0	41.1	▲13.3	▲6.2	▲11.1
	来期見通し	▲36.8	▲30.0	▲35.3	▲43.8	▲37.5	▲38.8
在 庫 D・I	今期実績	▲2.7	5.0	▲11.8	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲4.6	15.0	17.7	▲31.2	▲6.2	▲22.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲1.1	0.0	11.7	▲12.5	6.3	▲11.1
	来期見通し	▲14.7	▲20.0	▲23.5	▲25.0	▲12.5	▲16.7
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	▲8.5	0.0	▲11.7	▲25.0	0.0	▲5.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲6.2	▲11.8	▲11.8	0.0	7.1	▲11.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

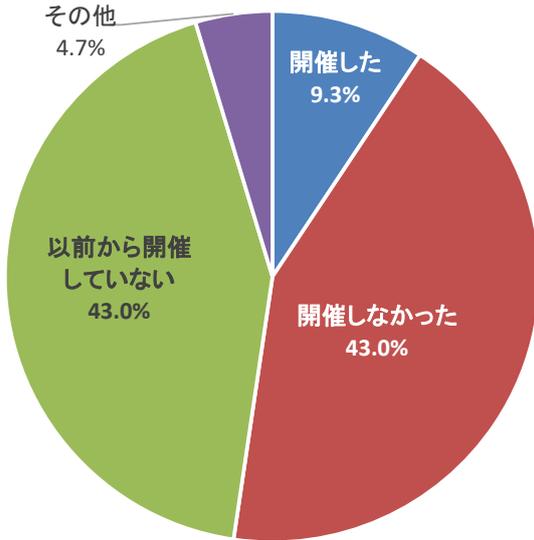
※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。

Ⅲ. 忘年会・新年会の開催状況

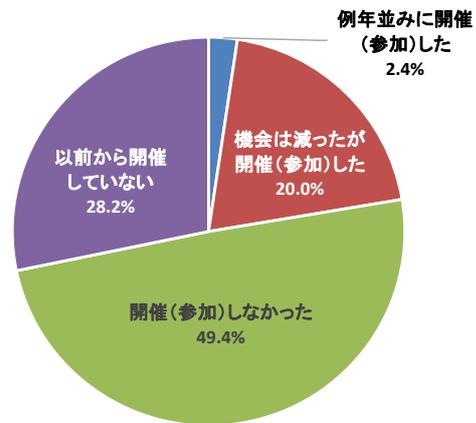
新型コロナウイルスの感染が拡大した当初から、大人数での会食や飲酒等、マスクを外すことによる感染リスクが高まる行為については懸念されており、公官庁を中心に、忘年会や新年会、歓送迎会の開催については自粛がなされてきました。現在、飲食店の営業制限は緩和されているものの、食事以外のマスクの着用、黙食といった対策が講じられています。

そこで、今回は紋別市内の事業所による忘年会、新年会の開催状況について質問を行いました。

2021年自社の忘年会



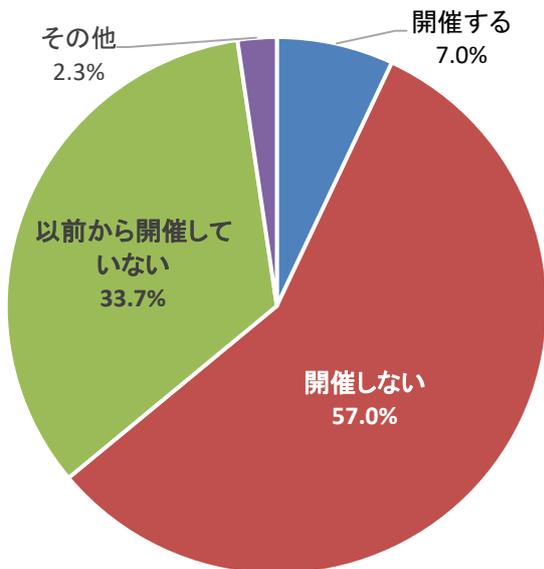
2021年自社以外の忘年会



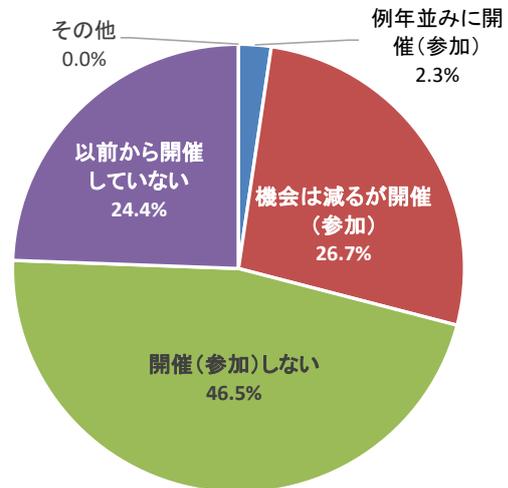
【その他の意見】

- ・忘年会開催の経費を賃金に上乗せ支給(食料品等小売業)
- ・工場内で簡単に行った(資材等製造業)
- ・オードブルを渡した(印刷業)

2022年自社の新年会



2022年自社以外の新年会



【その他の意見】

- ・お年玉にて対応(食料品等小売業)